

鴨江小学校 活動報告

5年「Lesson5 What do you like? (全4時間)」

(1) 導入における仕掛け

① 絵本を使った導入

授業の導入では、色や形、動物が描かれた絵本である「Color Zoo」という絵本を使用した。展開が単純で分かりやすいため、児童が自然と色や形の言い方に慣れ親しむことができると考えた。また、第一時では色のみを扱い、第二時は形、第三時は動物と、徐々に使用語彙を増やしていくことで、児童が自然に語彙を習得できるように工夫した。さらに、絵本を読み終えた後に、登場した動物の数や、動物の好き嫌いを英語で尋ね、既習内容を用いたコミュニケーションも行った。

② 身近な場面設定

色の語彙を習得する段階で、様々な色のTシャツの写真を用意し、Tシャツ店という場面設定をした。教師の発音をただ繰り返すだけでなく、児童がより身近な場面で英語を使う感覚で学ぶことができるようにした。「What color do you like?」という質問に対して「Yes/No」で答える際も、自分が本当に好きな色を答えたり、友達の好きな色を知ったりと、主体的な学びにつながった。

(2) コミュニケーション能力を高める仕掛け

① リアクションの工夫

本学級の児童の外国語活動における実態として、活動に主体的に取り組むものの、コミュニケーションの不自由さが見受けられる。そこで、児童が充実したコミュニケーションをとることができるような活動を設定した。リアクションボードを使い、友達に何か尋ねたり、挨拶をしたりした際にはリアクションをするよう意識付けた。楽しく、自然に会話が続けられるよう「Me too.」や「Good job.」など、様々なリアクションの仕方を紹介した。

② お気に入りのTシャツをつくる活動

本単元のまとめとして、「What color/shapes/animal do you like?」と互いにインタビューし合い、Tシャツをデザインする活動を行った。学級の児童を fashion designer (デザイナー) と customer (客) に分け、デザイナーは客に好きな色や形を尋ね、その通りにTシャツをデザインするという活動である。活動を応用し、好きなスポーツやフルーツを尋ねていた児童もおり、既習内容を用いて活動の幅を広げることができた。

(3) よかったこと

- ・新しい語彙に会う際に、児童にとって身近なTシャツ店という場の設定をしたことで、本単元に対する興味関心が高まった。
- ・友達の好きな色や形のTシャツをデザインするという目的意識により、好きな色や形を尋ねよう、伝えようと、積極的にコミュニケーションをとる様子が見られた。

(4) 困ったことや課題

- ・英語の習得に個人差があるため、児童が互いに支え合う和やかな雰囲気でのコミュニケーションができる授業を目指したい。
- ・単語であればほとんどの児童が発音することができるが、「What color do you like?」などのフレーズになると、難しい児童がいる。チャンツや英語の歌を有効に使い、児童がリズムに乗って体で英語を表現できるようにしたい。

(5) 単元計画

時	活動内容	目的
第1時	・ Color Zoo (色) ・ ミッシングゲーム (Tシャツ) ・ Color Tag (色鬼)	絵本やTシャツを通して色の言い方を知り、日本語と英語の音の違いに気付く。
第2時	・ Color Zoo (形) ・ キーワードゲーム (形)	色や形の言い方に慣れ親しみ、好きなものは何か尋ねる表現を知る。
第3時	・ Color Zoo (色&形) ・ 好きなものインタビュー	色や形、好きなものは何かを尋ねる表現を用いたコミュニケーションの仕方を知る。
第4時	・ お気に入りのTシャツを注文しよう	Tシャツ作りを通して、好きな色や形について、積極的に尋ねたり答えたりしようとする。

(6) 活動の様子



Tシャツの写真を使った語彙の習得



お気に入りのTシャツをつくろう